

# 公立諏訪東京理科大学 様 研究室見学会



出典：公立諏訪東京理科大学公式サイト

## 2024.9.18 (水)

### 定員：40名

定員になり次第締め切らせていただきます。

集合場所： 公立諏訪東京理科大学 7号館 1階 アセンブリーホール




14:00	受付開始	
14:30	開会 濱田学長挨拶、大学紹介 研究紹介	
	・機械電気工学科	橋元 伸晃 教授
	・情報応用工学科	田邊 造 教授
	・機械電気工学科	伊藤 潔洋 講師
16:30	研究室見学	(会費＝無料)
18:00	交流会(希望者)	(会費＝3,000円)
	交流会会場：大学学生食堂	
19:00	解散	

問合せ

一般社団法人 信州産学みらい共創会 事務局  
TEL:026-269-5384/FAX:026-269-5731  
E-mail info@kyosokai.or.jp

公立諏訪東京理科大学 地域連携・研究支援室  
TEL:0266-73-1345/FAX:0266-73-1201

## 【講師のご紹介】

	<p style="text-align: center;"><b>橋元 伸晃 教授</b>      工学部 機械電気工学科</p> <p>研究分野: センシング・アーキテクチャ    センサ工学, エレクトロニクス, 実装工学          プロフィール: 岩手大学終了, セイコーエプソン株式会社・2018年より諏訪東京理科大学を経て公立諏訪東京理科大学</p> <p>【研究室理念】 世の中の一隅を照らす研究で、一人でも多くの人に笑顔をお届けしよう          【研究目的】 オブジェクト指向の研究で社会課題を解決し、困っている人に喜んでもらう          【注力研究】 医療、健康、食・モノづくりの分野を中心とした研究          医療分野では、薬の飲み忘れを防止する可食性センサ、一側性難聴者の危険方向指示システムなどを研究しています。健康分野では、熱中症に罹らない労働や生活を達成する全身発汗量・塩分喪失量計測技術や深部体温計測技術、食・モノづくりの分野では、ウェアラブルな牛肉のうまみ判別技術、自動レンズ傷の計測研究など多様な分野の社会課題を解決する研究に向けて全力で挑戦を続けています。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>田邊 造 教授</b>      工学部 情報応用工学科</p> <p>研究分野: 画像映像, 音声音響, IoT通信に関するデジタル信号処理の研究          プロフィール: 東京工業大学修了, 東京工業大学・2006年諏訪東京理科大学を経て公立諏訪東京理科大学</p> <p>画像映像・音声音響・無線通信などの情報からビックデータ解析することで、雑音抑圧した後に必要な情報を抽出する雑音抑圧技術に加え、ヘッドマウントディスプレイなどを用いたCGを用いた可視技術などのデジタル信号処理の研究に従事しています。</p> <p>具体的には、[音声音響研究分野] 自動カラオケiPhoneアプリ！カシレボの開発、高速道路などの打音解析装置と可視化アプリケーションの開発。[画像映像研究分野] 日本医科大学と山中方式iPS細胞拍動の動態解析による分化度評価、心筋梗塞予測、大動脈解離予測などの共同研究をおこなっています。また、[IoT通信研究分野] 地元企業と独自IoTプラットフォームを構築してモノづくりのDX化を進めています。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>伊藤 潔洋 講師</b>      工学部 機械電気工学科</p> <p>研究分野: 材料力学, 材料強度学, 衝撃工学, コーティング, 溶射          プロフィール: 東北大学終了, NTN株式会社・東北大学・東京理科大学を経て2021年より公立諏訪東京理科大学</p> <p>【研究テーマ】 極限環境下における材料の変形・損傷・付着メカニズムの解明          【応用分野】 ジェットエンジン・発電用ガスタービンの高温部材, コールドスプレー法, 輸送機器の衝突安全性, 薄膜の機械的特性評価, etc.          材料を非常に速い速度で変形させた場合、ゆっくり変形させた場合に比べ変形に要する応力(流動応力)が高くなります。また、温度が高い場合、流動応力は低くなります。このように、材料の変形特性は変形速度(ひずみ速度)や温度によって変化します。しかしながら、超高温や超高ひずみ速度などの極限環境下における材料の特性については、評価手法が未確立のため明らかになっていません。          そこで、極限環境下における材料特性評価手法や耐衝撃特性評価手法を開発するとともに、変形メカニズムの解明や応用技術開発を進めています。球体衝突試験や球圧子押込み試験に基づく独自の評価手法により、材料のヤング率やひずみ速度・温度依存性を簡単に評価できます。</p>

## 【交通アクセス】

<https://www.sus.ac.jp/about/access/>



公立諏訪東京理科大学  
無料駐車場あり

地図: Mapionより抜粋

## 【研究室見学会 参加申込み】

【参加申込み方法】

記載URLまたはQRコードより専用フォームへアクセス

<https://forms.gle/eo22pfrY3GoBV3Zr7>



【問い合わせ先】

一般社団法人 信州産学みらい共創会事務局(担当 浅川、藤沢) TEL 026-269-5384